

ヘルプカードの使い方



「ヘルプカード」は、障害のある方や高齢者等が、災害時や緊急時、ちょっと手助けが欲しい時に、適切な配慮や支援が受けられるためのカードです。

- ◆ 「ヘルプカード」を折りたたむと、カードサイズになりますので、必要な時にすぐに取り出して使えるよう、手帳やお財布等に入れておきましょう。
- ◆ 「ヘルプカード」の表面には色々なイラストが描かれています。指でイラストを押さえ、相手に見せることで、自分の意思を相手に伝えます。
- ◆ 裏面には、自分の名前や住所、すぐに来られる人を記入しておくことで、周りの方に自分がどこの誰なのかお知らせします。
- ◆ 表面のイラスト以外でお伝えしたいことがある場合には、裏面の「お伝えしたい事」の欄に記入しておきましょう
- ◆ 「お伝えしたい事」の具体的な例として、以下のようなことを書いておきましょう
 - 1 障害や病気の名前、症状の特徴など
 - (例) 自閉症で大きな音や声が苦手です
 - (例) 難しい言葉が苦手です、ゆっくりと簡単な言葉で話してください
 - 2 よく通っている病院や普段飲んでいる薬、服薬の注意点など




【八幡浜市のヘルプカード／表面】

		
<p>しゅわ でき かた 手話の出来る方は いませんか？</p>	<p>いま ほうそう なん 今の放送は何と 言っていますか？</p>	<p>ひなん ばしょ 避難場所へ 案内して下さい</p>
 <p>でんわ 電話を かけて下さい</p>	 <p>あなたの支援が必要です ドールカードヘルプカード 愛媛県八幡浜市 愛媛県八幡浜市 愛媛県八幡浜市</p>	 <p>か 書いて もらえませんか？</p>
 <p>けいさつ 警察へ 110番 してください</p>	 <p>きゅうびょう 急病です！ 119番 してください</p>	 <p>かじ 火事です！ 119番 してください</p>

【八幡浜市のヘルプカード／裏面】

やわたしはまヘルプカード
わたし
私の



なまえ
名前は、

じゅうしょ
住所は、

こ ひと
すぐに来れる人は
なまえ
名前
でんわ
電話

お伝えしたい事